

2022. 第391号

区だより

真宗大谷派京都教区 教化広<mark>報誌</mark>

Shinran \$50

意味をたずねていこう → 人と生まれたことの ・ 無阿弥陀仏

CONTENTS

2面

が担当しています

今月の「ことば」は教区駐在教導

「連載」最終回 悲しみが通じあう時 -愚禿悲歎述懐を通して-

> よつつじ あきら 四衢 亮氏

3面

人を深める

別れが

「今、この時に、 親鸞聖人に遇う」 大阪教区 圓德寺 うえば なおひろ 上場 直裕氏

4.5面

「特集」 地域とお寺の 新たなつながり <寺ヨガ>

6面

教務所からのお知らせ

イマテカラヴ

今月の「ことば」



巳上十八首これは愚禿がかなしみなげきにして

述懐としたり。この世の本寺本山のいみじき僧と

もうすも法師ともうすも うきことなり。

や嘆きを述べられたものが、これまで読んできた愚あります。親鸞聖人がご自分の心の内にある悲しみの思いを述べること、意中を述べること、と辞書に「述懐」は古くは、「しゅっかい」と発音し、心中

の和讃の表題ともなっています。 禿悲歎述懐だということです。それがそのまま一連

第一首から第六首までは、「真実の心はありがたし」 にされた、ご自身のあり様が率直に詠われています。 にされた、ご自身のあり様が率直に詠われています。 にされた、ご自身のあり様が率直に詠われています。 にされた、ご自身のあり様が率直に詠われています。 それに続いて、第七首から第十六首までは、自身 それに続いて、第七首から第十六首までは、自身 それに続いて、第七首から第十六首までは、自身 でする仏法の真実性を失わ

現在放送中のNHKの大河ドラマ『鎌倉殿の13人』。主演の小栗旬さんが演じる北条義時は、親鸞聖人のちょうど十歳年上です。ドラマの時代はそのまま親鸞聖人の時代です。また尾上松也さん演じる後ま親鸞聖人の時代です。また尾上松也さん演じる後ま親鸞聖人の時代です。また尾上松也さん演じる後ま親鸞聖人の時代です。また尾上松也さん演じる後ま親鸞聖人の時代です。また尾上松也さん演じる後ま親鸞聖人の十九歳で坂東の地におられたのですから、場所もあのドラマの世界です。もちろんた河ドラマは歴史そのものではありませんが、見たてずから、場所もあのドラマの世界です。もちろんです。凄惨な殺し合いの時代です。

ように扱われる人々や、いつ粛清されるか誰が裏切隅で身を縮めて耐える「いし・かわら・つぶて」のその中にあって、刀も弓も持たない、力の前に片

首に表されます。
首に表されます。
音に表されます。
を称と戦々恐々として力ずくの殺し合いに疲れ果てるかと戦々恐々として力ずくの殺し合いに疲れ果て

首から第十六首までに詠われました。の力を頼みとする時、仏教がいかに変質するか、まの力を頼みとする時、仏教がいかに変質するか、ま

です。 です。

とかし教えが財を生むと言った時、その教えは財を生み出しやすい、財と直結しやすいものことを目でも変質するのでしょう。親鸞聖人はそのことを目をまみ出しやすい、財と直結しやすいものへといつ本手本山のいみじき僧ともうすも法師ともうすも うなことなり」と漏らされたのです。だから「この世の本手本山のいみじき僧ともうすも法師ともうする。(了)

「今、この時に、

のではないでしょうか。そのような世の中に

て、「本当とは何か」が見えづらくなっている



「伝えるから

大阪教区圓德寺 上場 直裕伝わる教化伝道に向けて」

うか。 様 現代の方々に届く 問題があります。 その編集に携わらせていただいており、紙面 教えを伝える記事が掲載されています。私は、 せられます。現代は、あらゆる情報が乱立し、 を通じて私自身もお育てをいただいています。 たり聞法紙として発行され続け、 『南御堂』 反な専門家による知識や見識が溢れかえっ 大阪の難波別院から毎月発行されている この新聞は、 私が課題としていることに「言葉」の 新聞という機関紙をご存じでしょ 編集作業で文章を扱う中、 「言葉」とは何かを考えさ 創刊から六○年以上にわ 浄土真宗の

> く 的定型文」は、法話や文章を書く上で使いやす 型的に使うことで一つの正解を導き出しやす 葉をよく使ってしまいます。確かに、これらの 教えを伝えようとする時、 ことは、むしろ伝える側のエゴのようにも捉 実の言葉が求められているようにも思います。 あって、本当のことに出会いたいという、 で「問われている」「願われている」などの言 えられかねません。例えば、私たちが真宗のみ か伝わらないのが現実です。 で現代の方にお伝えしようとしても、 いものとなっているようにも思えます。「真宗 言葉は大切な意味を持っているのですが、定 とはいえ、仏典や宗祖の言葉を原文のまま 『南御堂』新聞でもつい使用しがちです。 定型文のような形 仏教用語を使う なかな 真

「伝える」ことの難しさは常日頃から痛感 私の大切な指針となっています。私が法話を 私の大切な指針となっています。私が法話を なた後、その先生から「君はお念仏につい に話していましたが、君自身はお念 仏をいただいて本当に喜べているのですか。 る人が喜べるでしょうか」と。私が学んだことが

いただいたのです。とを、ただ言葉を並べて伝えようとしていたとを、ただ言葉を並べて伝えようとしていた。のまり、「伝とが見透かされたようでした。つまり、「伝とが、

「経教はこれを喩うるに鏡のごとし」(善導ない、そして自分自身と出遇っていく歩みとない、そして自分自身と出遇っていく歩みとない、そして自分自身と出遇っていく歩みとない、そして自分自身と出遇っています。

葉を確かめていきたいと思います。
直す眼が大切です。その上で、現代に届く言は、私の聞法の姿勢、日ごろの生活を見つめしていく、これが今の私の課題です。それにしていく、これが今の私の課題です。それに

えていきたいです。かる責任のもと、今後も教化伝道について考める責任のもと、今後も教化伝道について考えていきを、新聞という歴史と伝統の中に関

『南御堂』新聞購読は難波別院教務部または、

「南御堂オンライン」まで。

TEL: 06-4708-3275 https://www.minamimido.online/home

特集 地域とお寺の新たなつながり

ひそかなブームとなってい るのか各地のお寺でヨガ が行われているようです。

今月は教区内で開催され

教区内でもちらほらとその 声を聞くようになっていま 三ヶ寺で開催されてい 「寺ヨガ」について探って

ている「寺ヨガ」について 特集します。

いきましょう。



じように思って ためには子ども たまに参加して きっと他にも同 ました。預けずに らう必要があり を誰かにみても ヨガに参加する 小さな子がいて ヨガをしたい! いました。しかし

いる方がいるの

みんなで笑い話になります。

また、本堂で法要前にたくさんの仏具を出してい



子どもOK!泣い ような環境の方と

ても騒いでも大丈

三年程前から同じ ではないかと思い

ヨガの需要に驚きました。

くの参加希望があ を呼び、一時は多 めました。

そこから人が人

のようなヨガを始 夫!お互い様!そ

寝息が聞こえることも…本堂でそれほどリラック スされていることを嬉しく思っています。 いう声をよく聞きます。リラックスポーズの時には よりお寺またはオンラインで月二回開催しています。 コロナ下になり今は規模を縮小して、感染状況に お寺の雰囲気を感じて、落ち着く~癒される~と

ません。しかし深い呼吸をしながら、普段は意識し きる時間になっているように感じています。 分自身の体調やこころの具合と向き合うことがで っていても日によって感じ方が変わり、その時の自 ない自分の身体や筋肉を意識すると、同じ体勢をと ても大事ですが、合わせて行うことは簡単ではあり ヨガは単に身体を動かすだけではなく呼吸がと たまに変なところが筋肉痛になりますが。 。それも

> っておたずねいただくこともあります。 ると、お磨きや行事の話などお寺のことに興味を持 お寺でヨガを始めて、その繋がりから、話し合い

も増え、 もあり、それをきっかけに初めてお寺に来られる方 いるように思います。 や集いの場としてお寺に声をかけていただくこと これからもお寺が気軽に来てリラックスしても 本堂が近況報告や情報交換の場にもなって

いきたいです。 (泉龍寺衆徒 泉 阿弥華)らえるような場になるように模索しながら続けて

ガ」のインストラクターでご門徒の東海林 玲子 さんにお話を伺いました。 ◇光久寺(山城第四組)で開催されている「寺ヨ なぜお寺でヨガをしようと思われたのでしょうか。



点からいうとお 皆様に参加して 寺は「開かれた、 ガをするよりも、 がありました。 というイメージ いただきやすい 行きやすい場所_ 地域という観 スタジオでヨ

もあり、お寺という場所がふさわしいと思いました。皆様の心と体を元気にする目的でやっていきたい事また、ヨガをお洒落なものではなく地元や地域の

- ある意味神秘的な空間を求めてなのでしょうか。



空間というなける。 空間というなお寺は親しみやする「困ったらおける」という駆け

イメージがありました。

いという願いがあります。かけとなり、お寺が地域に開かれた場所になればいるきっかけになればと思います。また、ヨガがきっ教室を開催する事により、お寺に足を運んでもらえ教室を開催する事により、お寺に足を運んでもらえ

か。お伝えしたいことは?― お寺でヨガを開いてみて、どのように感じています―

今まで来られなかった方や見学しておられた方、今まで来られなかった方にも来ていただけて嬉しいです。これから来られる方や興味を持っていただいてっていきたいです。ヨガは心にも体にも良い効果がっていきたいです。ヨガは心にも体にも良い効果があります。特にこんな世の中なので皆さんの健やかな人生の役に立てられたらと思っています。是非とを大生の役に立てられたらと思っています。是非となっています。

◇ 寺ヨガと出会って 候補衆徒 徳田 潤子

心が軽くなります。ています。無理なく体を動かし、呼吸を整える事でています。無理なく体を動かし、呼吸を整える事でヨガの時間は「自分を大事にする時間」だと感じ

す。 (インタビュー・文責 出版部会 徳田 潤子)場」としての役割を担ってくれているように思いまばいい」と願っていた私にとって寺ヨガは「出遇いの多く嬉しいです。お寺が「人と人が出逢う場所になれまた、寺ヨガを機縁としてお寺に来て下さる方がまた、寺ヨガを機縁としてお寺に来て下さる方が

見てみましょう◎大津別院で開催されている「ヨガ」の様子を

大津別院では、昨年から、紫敬区域関係者も関わたまり、高村まりこさん(滋賀県在住)です。のでおられるNPO法人「笑縁プロジェクト」により、毎週月曜日、別院を地域社会にひらく取り組みり、毎週月曜日、別院を地域社会にひらく取り組みら、スタートアップ期間を終えて、「笑縁プロジェクト」が撤退されるにあたり、メンバーを一新し、「別ト」が撤退されるにあたり、メンバーを一新し、「別ト」が撤退されるにあたり、メンバーを一新し、「別に広場」としてあらためて活動を開始することになりました。「別院広場」を中心になって支えてくださりました。「別院広場」を中心になって支えている。

をうけて、別院で人がつどう場をひらきつづけたいひらいてこられましたが、「笑縁プロジェクト」撤退れたそうです。昨年から、別院で月二回ヨガ教室を区域のお寺の本堂を借りてヨガ教室をスタートさ誰もが気軽に参加できるよう、市民センターや崇敬誰もが気軽に参加できるよう、市民センターや崇敬



トレッチ教室・声ヨ トレッチ教室のインストラ ガ教室のインストラ の方々と相談して、 毎月第二・第四月曜 日開催という新たな 日前でというがない。リーダ でさっています。

ました」と言葉にされました。
その思いを、高村さんは「最初は、子どもたちや地域の方々のために、みんなが楽しめる場をひらきとができなかったからこそ、人があつまり、みんな私自身、感染症の影響で友達とあうこと、つどうことが楽しめる場を、自分も求めていたのだと気がつきないできなかったからこそ、人があつまり、みんなが楽しめる場を、自分も求めていたのだと気がつきない。

くことが願われます。化の中心道場として、別院の本来性が回復されてい人と人がであい、そして仏法とであう場、地域の教崇敬区域、また地域の方々がつどう場がひらかれ、宗朝区域。また地域の方々がのどう場がひらかれ、

わる私の姿勢が問われていると感じました。って人を排除することになっていないか、別院に関ろげる」という高村さんの言葉から、使命感がかえ「自ら楽しみながら取り組むことが、人の輪をひ

、大津別院会計 比叡谷 真)

出雲組

務所からのお知ら Ù

住職任命】 |〇二二年九月二十 出雲組 妙覺寺 八日付

会場

しんらん交流館大谷 十三時三十分より

朩

1

正藏坊 賀 桐 慈章 静秀

を中心とし、 る大講堂の座席数が 感染拡大防 ることから、 本年も 新型コ ただきますのでご了承くださ 正の 人数を制限して 常磐会館責任役員· 対応のため、 ロナウィ Ŧi. 十席と限ら ル ス感染 会場 お 勤 総代 であ めを 症 れ

なお

後日、

画

(講師

廣

瀬

俊 朩

か

ねてより、

『教区

.だより』

『教区だより』カラー

化のお

大阪教区法觀

寺

を京都

|教区

の

化へは多く

の

お声

を

13

ただ

しました。

ページに配信する予定です。

法話も配信 ||〇二||年

中!

真は

の

墨

林 写 報

浩氏

可

能となりましたため、

わら

な

経費でカラー

去

 \mathcal{O}

常磐会館

恩講

大幅な経費削

減が

叶

13

昨年度より、

ネッ

印

刷

の

利

ださい!

法話動画」

よりご覧く

ム

ペ

ı

ジ

教区だより』をカラー

よる法話。 教区ホー

常磐会館報恩講について

谷派 人場無料 岐 阜高山教区 「青少幼年センター」 匹 衢 六〇人限定 亮 氏 不遠寺住職・ 先着順 研究員)

 \exists 『教区だより』公開講演会 十二月十九日 (月

-版でお届け 白黒印 来月号より 化すること 知ら の 用 61 ル 刷と カラ て に 近年、気候変動(地球温暖化)に対する危機が叫ばれています。温室効果ガスを発生さ せる化石燃料(石炭・石油など)の燃焼等により温暖化が進み、海面上昇や生態系の破壊、干ばつ、食糧難などの 危機が指摘されています。ことに資金や技術面で早期の適応が難しい途上国において、より多くの被害が懸念され

ています。温暖化によって今まで住んでいた土地に住めなくなる人々が出て来るのです。 一方で「温暖化は嘘」「人為的なものが原因ではない」「温暖化に関するデータを都合の良い部分のみ切り取っ ている」などという懐疑論もあるようです。気候変動が経済問題・政治問題と結びついて複雑化し、問題の本質が 見えにくくなっているのかもしれません。

正直言うと私自身、気候変動に対してあまり深刻に考えていませんでした。温暖化関連のニュースをどこまでも 他人事のように眺めて「えらいこっちゃ」と呟くくせに、近くのコンビニまでわざわざ車で移動する現実。

ある環境活動家は「気候変動は意識する・しないに関わらず、無関係な人は一人もいません」「本当に助けが欲 しい人は、助けを求める声さえ上げることができません」とお話されました。気候変動の問題は、単に科学的視点 からどうすべきかという話ではなく、あらゆる差別抑圧の問題に結びついて語られているような気がします。気候 変動は私の欺瞞性が抉り出されてくる問題です。私には苦しむ人の顔が見えていないのです。

(出版部会 藤野 顕生)

数年前までは自分専用の地図を一冊買って、目的地までの道を覚えていたものだ。地図を便りに目的地に辿 りつけた時の達成感はなんともいえない。

逆に道に迷っても素敵な場所に出たり、知らなかった道を発見できたりとお得な出来事もあった。

最近ではカーナビの音声に従って車を運転する事がほとんどで、「自分で道を覚える事」も「道に迷う事」も 少なくなった。方向音痴の私には有難いカーナビ。だけど、頭の体操も必要だと思う今日この頃。

2020年4月号より全18回に亘っての連載「悲しみが通じあう時-愚禿悲嘆述懐を通して-」が最終回を迎 えました。執筆いただいた四衢亮先生には誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。有難うございました。

(出版部会 徳田潤子)

発行人 篠岡 誓法(真宗大谷派京都教務所長) 発行所 真宗大谷派京都教務所

> 〒600-8164 京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel: 075 (351) 5260 Fax: 075 (351) 5256

発行日 2022(令和4)年11月1日

メールアドレス:kyoto@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派京都教区ホームページ

京都教務所



真宗大谷派 京都教区 教化広報誌

『教区だより』 第391号